

研究講習事業報告

学発番号：学19-040

事業名：令和元年度京臨技遺伝子検査研修会
日時：令和元年12月15日（日） 14：00～16：10
場所：キャンパスプラザ京都 第一会議室
主 題1：検体の取扱いと核酸の品質保証
講 師1：喜田 優人 技師（京都大学医学部附属病院）
主 題2：分子生物学的手法の臨床応用
講 師2：白井 洋紀 技師（京都第一赤十字病院）
主 題3：基礎から学ぶ次世代シーケンサー
講 師3：北野 敦史 氏（イルミナ株式会社）
参加数：総数：16名（京臨技会員：16名）
報告者：白井 洋紀

以下、講演内容など

遺伝子関連検査において、品質に大きな影響を与える「検体の取扱い」に関して、喜田優人技師に講義していただきました。自施設の運用を踏まえながら、分かりやすく説明していただきました。

続いて、臨床現場で使用される分子生物学的手法について、白井洋紀技師が医療機器登録されている検査機器を例に出しながら解説しました。

また、近年のゲノム医療に必須の次世代シーケンサーの基礎について、イルミナ株式会社の北野敦史氏を迎え、分かりやすく解説していただきました。